



ぐっと気温が下がり、空気が乾燥してきました。幼稚園でも感染症での出席停止の人が続いています。こまめな水分補給で乾燥対策と感染症対策をしていきましょう。

インフルエンザの流行が続いています

インフルエンザの特徴

潜伏期間…1～3日

主な症状…高熱(38 度以上)、頭痛、倦怠感、悪寒、関節痛、筋肉痛、咳、鼻水など

*一般的なかぜと比較すると全身症状が強いとされています。

*インフルエンザに罹患した際は出席停止になります。(期間は右の表のとおりです。)

出席停止期間…発症後5日経過かつ解熱後 3 日経過するまで(小学生以上は解熱後 2 日です。)



…解熱

発症したあと5日を経過	発症日 0 日目	発症後 1 日目	発症後 2 日目	発症後 3 日目	発症後 4 日目	発症後 5 日目	発症後 6 日目	発症後 7 日目	発症後 8 日目
発症後 1 日目に解熱した場合			解熱後 1 日目	解熱後 2 日目	解熱後 3 日目	発症後 5 日目			
→発症後 6 日目から登園可能	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登園可能		
発症後 2 日目に解熱した場合				解熱後 1 日目	解熱後 2 日目	解熱後 3 日目			
→発症後 6 日目から登園可能	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登園可能		
発症後 3 日目に解熱した場合					解熱後 1 日目	解熱後 2 日目	解熱後 3 日目		
→発症後 7 日目から登園可能	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登園可能	
発症後 4 日目に解熱した場合						解熱後 1 日目	解熱後 2 日目	解熱後 3 日目	
→発症後 8 日目から登園可能	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	出席停止	登園可能

インフルエンザにかかったと思われるときは…

抗インフルエンザ薬は発症後 48 時間以内に使用することで、罹患期間の短縮などの効果があります。ただし、発熱後すぐに受診した場合、検査結果が正しく出ないこともあります。発症後 12 時間後以降を目安に受診すると良いようです。息苦しい様子があったり、意識がもうろうとしているなどの症状があった場合はすぐに病院受診をしてください。

～家族が感染した時～

感染予防のためには、できるだけ感染者との接触を避けることが必要になりますが、感染経路に沿った対策をすることで効果的な予防に繋がります。インフルエンザは飛沫感染と接触感染によって感染します。

飛沫感染は感染している人が咳やくしゃみ、会話をした際に口から飛ぶ、病原体が含まれた飛沫を、近くにいる人が浴びて吸い込むことによって感染します。マスクの着用などで、咳やくしゃみを人に向けて発しないことが予防に繋がります。

接触感染は直接感染した人に触れる(握手・だっこなど)ことや、ドアノブなど汚染された物に触れた後、病原体が付いた手で口・鼻・眼を触ることで感染します。そのため、タオルの共用を避けること、ドアノブや手すりなどの消毒、こまめな手洗いなどが予防に繋がります。

冷え対策～脱衣についても意識して～

体が冷えたことが原因で体が不調になることがあります。よく見られるのは腹痛や下痢などです。その対策としては、体を温かくしたり、体温を測るなどがあります。それに加えて、暖房の効いた室内では、脱衣することも意識する必要があります。

出かけた先で電車に乗ったり、暖房の効いた屋内に入った際、コートなど上着を着たままだと、こどもは汗をかいてしまいます。そのまま再び室外に出してしまうと、かいた汗によってかえって体が冷えてしまう恐れがあります。適切に脱ぐことも意識しながら、体温調節をしてください。



不審者対応訓練を行いました。

11月21日(金)に不審者対応訓練を行いました。幼稚園に不審者が入ってきたことを想定して訓練を行いました。訓練の後は、1組は防犯に関する紙芝居を、2、3組は埼玉県警察本部の防犯指導班「ひまわり」から2名の方が来てくださり、出かけた際、自分のいのちを守る約束についての人形劇を見ました。警察より防犯に関する資料をいただいたので、参考にご覧ください。(次のページ)

